

吉野川に架かる橋梁

～橋の博物館《とくしま》～



大阪鉄工所吉野川橋記念写真帳より

平成25年3月
徳島県

吉野川に架かる橋梁 ～橋の博物館《とくしま》～

目 次

	ページ		ページ
1 橋梁の状況		19 岩津橋	14
(1)概要	1	20 穴吹橋	14
(2)状況	1	21 ふれあい橋	15
(3)橋の構成、種類		22 脇町橋	15
①橋の構成	2	23 小島橋	16
②橋の種類		24 美馬中央橋	16
使用材料による分類	3	25 美馬橋	17
形式による分類	4	26 青石橋	17
2 吉野川に架かる橋梁		27 東三好橋	18
位置図	5	28 角の浦大橋	18
完成年度	6	29 三三大橋	19
1 阿波しらさぎ大橋	7	30 美濃田大橋	19
2 吉野川大橋	7	31 吉野川橋	20
3 吉野川橋	8	32 吉野川橋りょう	20
4 吉野川橋りょう	8	33 三好大橋	21
5 四国三郎橋	9	34 四国中央橋	21
6 名田橋	9	35 敷之上橋	22
7 六条大橋	10	36 池田へそつ湖大橋	22
8 高瀬橋	10	37 池田大橋	23
9 西条大橋	11	38 三好橋	23
10 阿波中央橋	11	39 第1吉野川橋りょう	24
善入寺島にかかる潜水橋	12	40 大川橋	24
11 大野島橋		41 祖谷口橋	25
12 川島橋		42 国見山橋	25
13 千田橋		43 国政橋	26
14 学島橋		44 赤川橋	26
15 学北橋		45 第2吉野川橋りょう	27
16 香美橋		46 大歩危橋	27
17 阿波麻植大橋	13	番外1 池田ダム	28
18 瀬詰大橋	13	番外2 美濃田観光橋(未完成)	28
		番外3 旧穴吹橋モニュメント	28

1 橋梁の状況

(1) 概要

徳島は水の都とも呼ばれ、吉野川をはじめ大小約500の河川が流れており、その河川には全国でも有数の橋が数多く架けられています。

特に吉野川には、昭和初期に架設された三好橋、吉野川橋に始まり、平成24年完成の阿波しらさぎ大橋の架設まで、約90年の間に、徳島県内で46もの橋が架けられており、それぞれが当時の最新工法を駆使したことから、多種多様な橋りょう形式が存在し、まさに「橋の博物館」となっています。

＜参考＞ 「11大橋梁架設計画」

大正8年の道路法制定にともない、永久橋の架設に国費が支給されることとなったため、大正10年に徳島県が策定した計画。大正14年に財政上の問題で、中央橋、名田橋、鮎喰橋の3橋が休止(戦後に架設)となったが、昭和4年までに吉野川など8橋が架設された。

なお、その内6橋は日本を代表する橋梁技術者の増田淳氏が設計。



(2) 状況

徳島県は上記に述べた地形的な要因により、道路実延長に対する橋梁延長の割合(橋梁率)は高架橋を多く含む大都市に次いで全国上位となっています。

	道路実延長 A (km)	橋梁 (2m以上)		
		箇所数	延長 B (km)	$\frac{B}{A}$ (%)
徳島県	2,493	2,536	82.5	3.31
全国	184,348	150,996	5,513.0	2.99

※国・都道府県道 H22.4.1現在

橋梁率 都道府県順位

順位	都道府県名	橋梁率
1	東京都	9.0%
2	大阪府	7.8%
3	神奈川県	6.2%
4	埼玉県	3.8%
5	兵庫県	3.7%
6	京都府	3.6%
6	静岡県	3.6%
8	愛知県	3.5%
9	岐阜県	3.4%
10	徳島県	3.3%

2012年道路統計年報による

徳島県 橋の長さ上位10橋

順位	橋名	路線名	長さ
1	大鳴門橋	神戸淡路鳴門自動車道	1,629m
2	阿波しらさぎ大橋	徳島環状線	1,291m
3	吉野川大橋	国道11号	1,137m
4	阿波麻植大橋	県道市場学停車場線	1,084m
5	吉野川橋	県道徳島鳴門線	1,071m
6	四国三郎橋	県道徳島北灘線	910.5m
7	吉野川橋	徳島自動車道	852.5m
8	阿波中央橋	国道318号	820.6m
9	名田橋	県道徳島引田線	800m
10	西条大橋	県道宮川内牛島停車場線	734m

(参考)

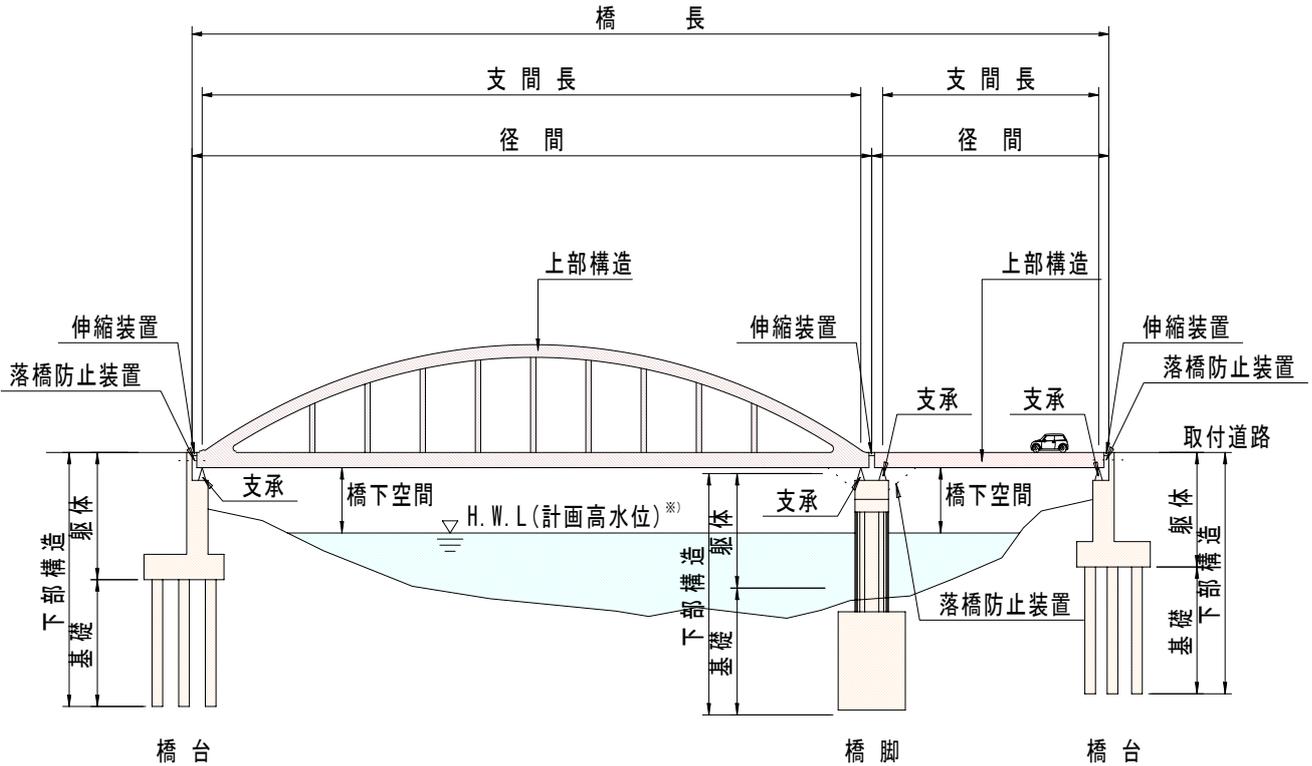
徳島県 最大支間長 上位5

順位	橋名	路線名	最大支間長
1	大鳴門橋	神戸淡路鳴門自動車道	876m
2	小鳴門大橋	鳴門公園線	280m
3	阿波しらさぎ大橋	徳島環状線	260m
4	末広大橋	徳島環状線	250m
5	池田へそつ湖大橋	徳島自動車道	200m

※支間長:支承間の長さ(次ページ参照)

(3) 橋の構成、種類

① 橋の構成



- 橋長 : 橋台間の長さ
- 支間長 : 支承間の長さ
- 上部構造 : 歩行者や自動車の荷重を直接支える部分
- 下部構造 : 上部構造を支える部分(橋台、橋脚、基礎)
- 支承 : 下部構造と上部構造の接点に設け、荷重を上部構造から下部構造に伝達する役割を持つ
- 遊間 : 上部構造同士または上部構造と橋台との隙間
- 伸縮装置 : 遊間に設け、温度変化など伸縮を吸収するため設置されるもの
- 落橋防止装置 : 地震時に上部構造が落下することを防止するため設置されるもの



支承



伸縮装置



落橋防止装置

② 橋の種類

○使用材料による分類

橋の主要部分を形作る使用材料は、古くは自然材料である木や石が使用されていましたが、近代に入って鉄やコンクリートが使用されるようになり、橋の長大化が急速に進みました。
最近では、材料を組み合わせたものや、アルミニウムやFRPなど新素材も使われ始めています。

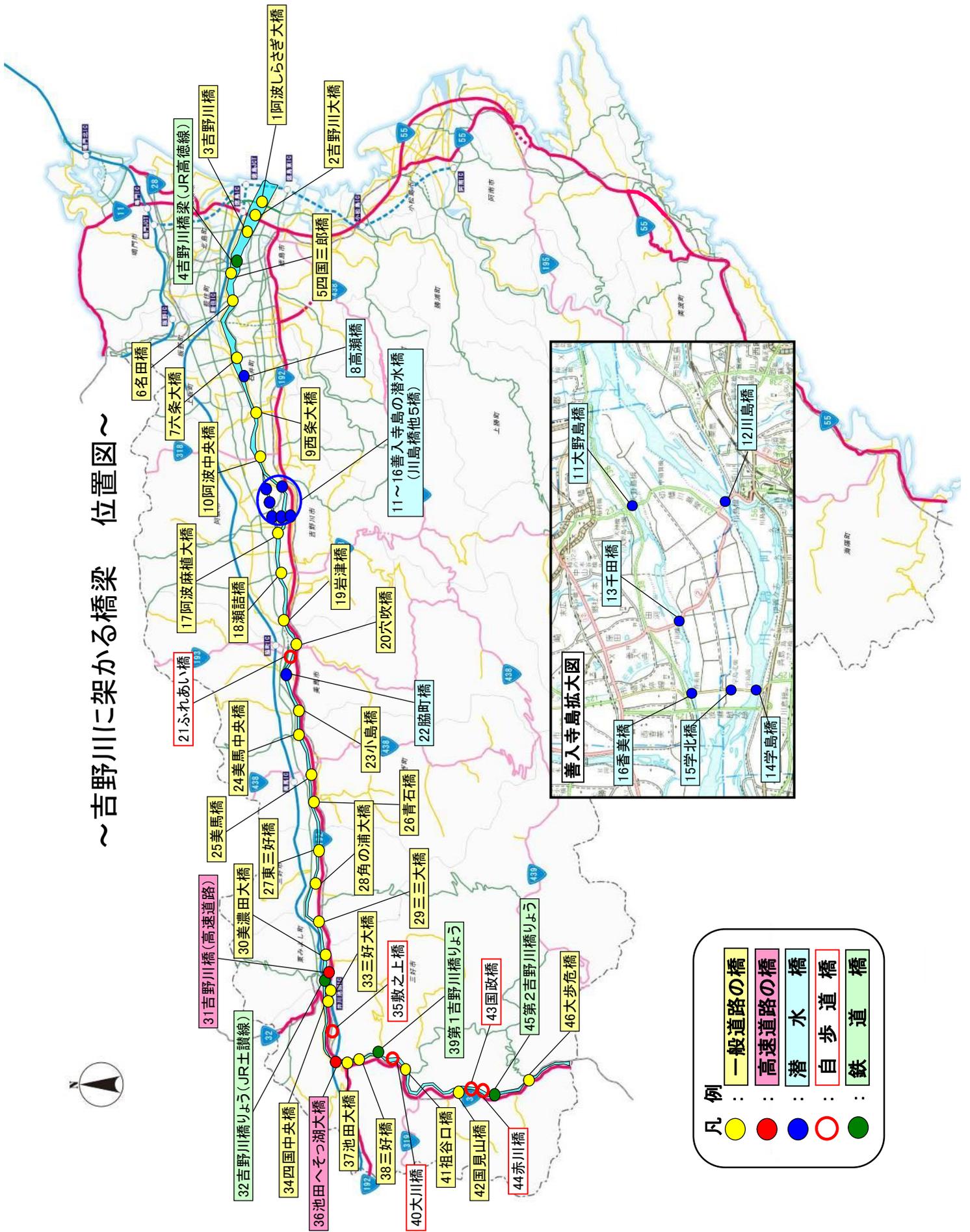
<p>木 橋</p>  <p>みどり橋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木材を主要材料とする橋。 ・ 現在でも歩道橋など荷重が小さな橋に採用される場合がある。 ・ 最近では無垢材の他、集成材のなどが用いられている。
<p>石 橋</p>  <p>ドイツ橋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石材で作った橋の総称。 ・ 古代から石造けた橋や石造アーチ橋として広く利用されている材料。 ・ 現在でも庭園などに設置されている。
<p>鋼 橋</p>  <p>美馬橋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼材を主要材料とする橋。 ・ 鋼は重量の割に高い強度を有し、弾力性に富む特徴がある。 ・ 鋼材の性能の向上と共に、大鳴門橋、瀬戸大橋、明石海峡大橋と長大化している。 ・ 錆びるという弱点があるため、塗装等が必要。(耐候性鋼材など無塗装のものもある。)
<p>コンクリート橋(鉄筋コンクリート[RC]橋)</p>  <p>香美橋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリートを主要材料とする橋。 ・ コンクリートは、圧縮力に強い反面、引張力に弱い特徴があるため、引張力に強い鉄筋で補強した構造。 ・ 小規模な橋梁に用いられる。
<p>コンクリート橋(プレストレストコンクリート[PC]橋)</p>  <p>美馬中央橋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンクリート橋で、P C 鋼材を用いて圧縮力を加えてコンクリートに引張力が生じないようにしたもの。 ・ 橋に荷重がかかり、伸びようとしても事前に圧縮力が加わった分、鉄筋コンクリート構造よりも大きな荷重に耐えることができる。
<p>複合橋</p>  <p>青雲橋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鋼材とコンクリートを組み合わせた橋。 ・ 鋼橋とコンクリート橋の良さを併せ持つ橋。 ・ 近年の設計や施工技術の向上により建設が可能となった。

○形式による分類

橋の形式はその橋の立地条件や経済性などによって決定されています。
現在は様々な形式の橋が開発され、下表の形式を組み合わせたり、改良したりした橋も見られます。

<p>桁橋</p>  <p>六条大橋 青石橋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下部構造の上に桁を架け渡した、シンプルな形式。 ・ 桁の断面形状は様々であり、T形、I形、箱型などがある。 ・ 最も採用される機会が多い形式。
<p>トラス橋</p>  <p>三好大橋 吉野川橋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ トラスとは、まっすぐな部材を三角形に組み合わせた構造。 ・ その優れた構造からタワーや鉄塔、ドームの骨組みのように大きい建築物にも用いられる。 ・ トラス橋には、形状によりワーレントラス、ハウトラス、Kトラスなどの種類がある。
<p>アーチ橋</p>  <p>大歩危橋 池田へそっ湖大橋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 弓なりの形状（アーチ）によって構成される構造。 ・ アーチの歴史は大変古く、古代までさかのぼることができる。 ・ アーチ橋には、形状によりローゼ、ニールセンローゼ、ランガー、トラスドランガーなどの種類がある。
<p>ラーメン橋</p>  <p>名田橋 ふれあい橋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下部構造と桁をがっちりと固定（剛結）した構造。 ・ ラーメン橋には、形状によりT形、門形、パイ(π)形などの種類がある。
<p>斜張橋</p>  <p>小鳴門大橋 末広大橋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塔から斜めに引張ケーブルで桁を吊る構造。 ・ 第二次世界大戦後、急速に発展した形式。 ・ 塔の数や形、ケーブルの張り方などが多様で、デザイン性に富むことが特徴。
<p>吊橋</p>  <p>大鳴門橋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塔を両側に設置し、主ケーブルを架け渡し、桁やトラスをハンガーでつり下げた構造。 ・ 長大橋に適した形式。

～吉野川に架かる橋梁 位置図～



凡例

- 一般道路の橋
- 高速道路の橋
- 潜水橋
- 歩道橋
- 鉄道橋

西暦	和暦	吉野川に架かる橋梁 完成年表		
1926	昭和 元			
1927	昭和 2	●三好橋(平成1年改造)		
1928	昭和 3	●穴吹橋(旧)	●吉野川橋	
1929	昭和 4	●吉野川橋りょう(JR土讃線)		
1930	昭和 5			
1931	昭和 6			
1932	昭和 7			
1933	昭和 8			
1934	昭和 9	●吉野川橋りょう(JR高徳線)	●大川橋	
1935	昭和 10	●第1吉野川橋りょう	●第2吉野川橋りょう	
1936	昭和 11			
1952	昭和 27	●大野島橋	●香美橋	
1953	昭和 28	●阿波中央橋		
1954	昭和 29	●高瀬橋		
1955	昭和 30	●千田橋	●学島橋	
1956	昭和 31			
1957	昭和 32			
1958	昭和 33	●美馬橋	●三好大橋	●第一岩津橋(旧)(人道橋)
1959	昭和 34	●美濃田大橋		
1960	昭和 35			
1961	昭和 36	●学北橋	●脇町橋	
1962	昭和 37			
1963	昭和 38	●名田橋	●川島橋	
1964	昭和 39			
1965	昭和 40			
1966	昭和 41	●瀬詰大橋		
1967	昭和 42			
1968	昭和 43			
1969	昭和 44			
1970	昭和 45	●六条大橋	●東三好橋	
1971	昭和 46	●第二岩津橋(旧)		
1972	昭和 47	●吉野川大橋(上流側)		
1973	昭和 48	●大歩危橋	●祖谷口橋	
1974	昭和 49	●敷之上橋	●国政橋	
1975	昭和 50	●赤川橋		
1976	昭和 51	●池田大橋		
1977	昭和 52			
1978	昭和 53			
1979	昭和 54	●阿波麻植大橋		
1980	昭和 55			
1981	昭和 56			
1982	昭和 57			
1983	昭和 58	●青石橋		
1984	昭和 59			
1985	昭和 60			
1986	昭和 61	●吉野川大橋(下流側)		
1987	昭和 62			
1988	昭和 63	●美馬中央橋		
1989	平成 元	●国見山橋		
1990	平成 2	●三三大橋		
1991	平成 3	●穴吹橋		
1992	平成 4	●小島橋	●ふれあい橋	
1993	平成 5	●岩津橋		
1994	平成 6			
1995	平成 7			
1996	平成 8			
1997	平成 9			
1998	平成 10	●四国三郎橋		
1999	平成 11	●吉野川橋(高速道路)		
2000	平成 12	●池田へそっ湖大橋		
2001	平成 13			
2002	平成 14			
2003	平成 15	●四国中央橋		
2004	平成 16	●西条大橋	●角の浦大橋	
2005	平成 17			
2006	平成 18			
2007	平成 19			
2008	平成 20			
2009	平成 21			
2010	平成 22			
2011	平成 23			
2012	平成 24	●阿波しらすぎ大橋		



一般道路の橋
潜水橋



高速道路の橋
鉄道橋



自歩道橋
撤去済み

1 阿波しらさぎ大橋(あわしらさぎおおはし)

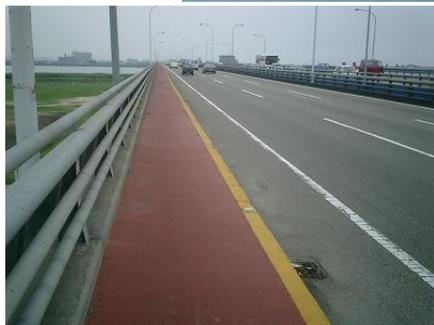


一言コメント

路線名: 主要地方道徳島環状線
橋長: L=1,291m 幅員: W=25.5~29.5m
上部工の形式: ケーブルイグレット
+ 連続ラーメン鋼桁橋
完成年: 平成24年4月

- ・斜張橋形式とケーブルトラス形式を組合せた「世界初の橋梁形式」
- ・ケーブルを張った外観が県の鳥である白鷺のはばたきに似ていることから「ケーブル・イグレット形式」と命名

2 吉野川大橋(よしのがわおおはし)



一言コメント

路線名: 国道11号
橋長: L=1,137m 幅員: W=12.3m × 2
上部工の形式: 連続鋼床版箱桁橋
完成年: 昭和47、61年

- ・上下線はセパレート構造で、完成年の違う2つの橋が並ぶ
- ・2橋は同一形式だが、桁の形状や歩道構造は異なる

3 吉野川橋(よしのがわばし)



路線名:主要地方道徳島鳴門線
橋長:L=1,071m 幅員:W=10.1m
上部工の形式:単径間曲弦ワーレントラス橋
完成年:昭和3年12月

一言コメント

- ・徳島のシンボリックな橋梁で、架設当時は東洋一の長大橋
- ・増田淳が設計し、わずか3年間で完成

4 吉野川橋りょう(よしのがわきょうりょう)



路線名:JR高徳線
橋長:L=949m
上部工の形式:鋼鈹桁橋
+連続鋼ワーレントラス橋
完成年:昭和9年

一言コメント

- ・日本で初めて、連続トラス構造を採用した橋

5 四国三郎橋(しこくさぶろうばし)



路線名:主要地方道徳島北灘線
橋長:L=910.5m 幅員:W=14.0m
上部工の形式:連続鋼床版箱桁橋+斜張橋
完成年:平成10年3月

一言コメント

・主塔間は県内唯一の漕艇会場(東四国国体で使用)であるため斜張橋を採用

6 名田橋(なだばし)



路線名:主要地方道徳島引田線
橋長:L=800m 幅員:W=8.0m
上部工の形式:有ヒンジPC連続ラーメン箱桁橋
完成年:昭和38年2月

一言コメント

・日本で2番目に架けられたPC橋で架設当時は日本最長

7 六条大橋(ろくじょうおおはし)



路線名: 主要地方道石井引田線
橋長: L=680m 幅員: W=7.5m
上部工の形式: 連続非合成鋼桁橋
完成年: 昭和45年6月

一言コメント

・六条渡船に代わり建設されたスカーレット色鮮やかな橋

8 高瀬橋(たかせばし)



路線名: 主要地方道德島吉野線
橋長: L=522m 幅員: W=4.0m
上部工の形式: RC床版+PC床版橋
完成年: 昭和29年8月

一言コメント

・吉野川に現存する潜水橋の内、
最長で、最も下流に位置する橋

9 西条大橋(さいじょうおおはし)



路線名:一般県道宮川内牛島停車場線
 橋長:L=734m 幅員:W=14.0m
 上部工の形式:下路式鋼ローゼ橋
 +連続鋼桁橋
 完成年:平成16年3月

一言コメント

・くしを思わせるような白いローゼ形式のアーチ橋

10 阿波中央橋(あわちゅうおうばし)



路線名:国道318号
 橋長:L=821m 幅員:W=10.0m
 上部工の形式:単径間櫛型鋼ワーレントラス橋
 完成年:昭和28年3月

一言コメント

・戦後に架けられた、日本で最初の長大橋
 ・親柱はイサム・ノグチがデザイン

○善入寺島に架かる潜水橋

11 大野島橋(おおのしまばし)



路線名:一般県道切幡川島線
橋長:L=228m 幅員:W=3.0m
上部工の形式:RC床版橋
完成年:昭和27年8月

12 川島橋(かわしまばし)



路線名:主要地方道津田川島線
橋長:L=285m 幅員:W=3.0m
上部工の形式:PC桁橋
完成年:昭和38年8月

13 千田橋(せんだばし)



路線名:主要地方道津田川島線
橋長:L=229m 幅員:W=3.0m
上部工の形式:PC桁橋
完成年:昭和30年3月

14 学島橋(がくしまばし)



路線名:一般県道市場学停車場線
橋長:L=312m 幅員:W=3.0m
上部工の形式:RC床版橋
完成年:昭和30年3月

15 学北橋(がくきたばし)



路線名:一般県道市場学停車場線
橋長:L=36m 幅員:W=3.0m
上部工の形式:RC床版橋
完成年:昭和36年3月

16 香美橋(かがみばし)



路線名:一般県道市場学停車場線
橋長:L=147m 幅員:W=3.0m
上部工の形式:RC床版橋
完成年:昭和27年9月

17 阿波麻植大橋(あわおえおおはし)



路線名:一般県道市場学停車場線
橋長:L=1084m 幅員:W=8.0m
上部工の形式:下路式連続平行弦鋼
ワーレントラス橋
完成年:昭和54年3月

一言コメント

- ・部材の繋ぎに、リベット止め工法を採用した最後の橋梁
- ・H21までに、狭かった両側通路を片側に寄せ、自歩道に改修

18 瀬詰大橋(せづめおおはし)



路線名:主要地方道志度山川線
橋長:L=589m 幅員:W=7.0m
上部工の形式:連続合成逆梯形鋼箱桁橋
+単径間合成逆梯形鋼箱桁橋
完成年:昭和41年10月

一言コメント

- ・藍色に塗られた、逆梯形(▽)の箱桁橋

19 岩津橋(いわづばし)



路線名:一般県道船戸切幡上板線
 橋長:L=175m 幅員:W=9.8m
 上部工の形式:単径間鋼床版箱桁斜張橋
 完成年:平成5年9月

一言コメント

・地形的な制約条件から、
 珍しい片持ち式斜張橋を採用

20 穴吹橋(あなぶきばし)



一言コメント

・旧穴吹町側の親柱は旧穴吹橋の
 ものを移設し、旧脇町側の親柱は
 うだつを設置
 ・名橋と言われた旧穴吹橋
 のモニュメントも設置されている

路線名:国道193号
 橋長:L=533m 幅員:W=10.3m
 上部工の形式:連続鋼箱桁橋
 完成年:平成3年3月

21 ふれあい橋(ふれあいばし)



路線名:美馬市道335号
橋長:L=500m 幅員:W=3.8m
上部工の形式:T型ラーメンPC箱桁橋
+有ヒンジPC連続箱桁橋
完成年:平成4年

一言コメント

- ・旧穴吹橋の位置に架設された自歩道橋
- ・橋上3箇所にバルコニーを設置

22 脇町橋(わきまちばし)

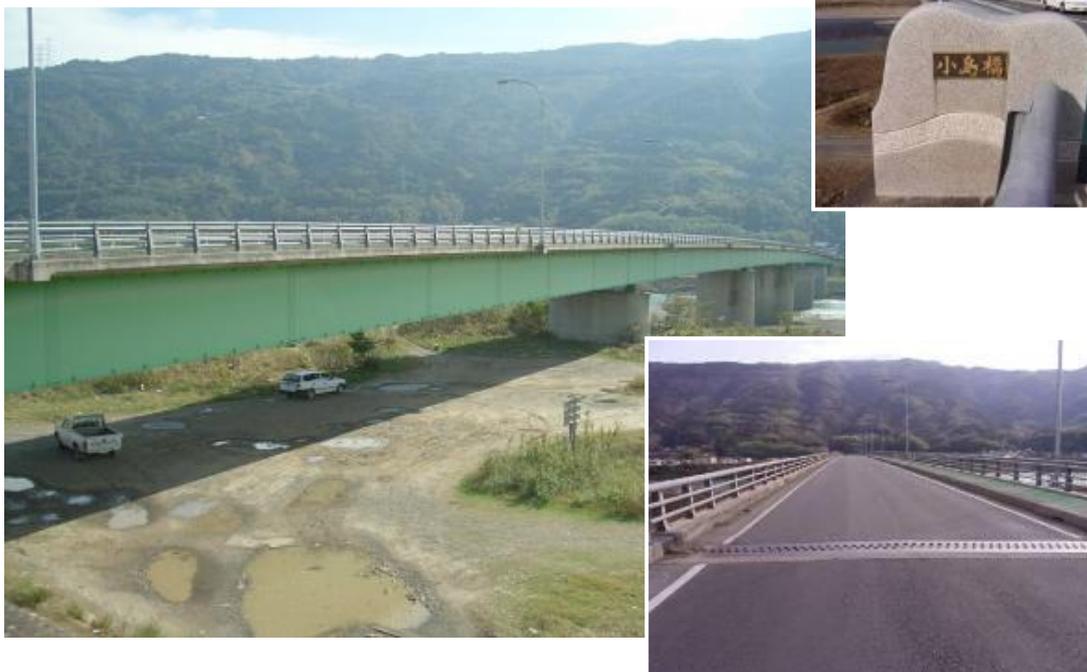


路線名:一般県道脇三谷線
橋長:L=207m 幅員:W=3.6m
上部工の形式:RC床版橋+PC床版橋
完成年:昭和36年3月

一言コメント

- ・吉野川の潜水橋の中で代表的な橋
- ・映画のラストシーンにも使用

23 小島橋(おしまばし)



路線名:一般県道穴吹塩江線
 橋長:L=436m 幅員:W=9.3m
 上部工の形式:連続箱桁橋
 完成年:平成4年9月

一言コメント

・淡い緑色に塗られた箱桁が特徴の橋

24 美馬中央橋(みまちゅうおうばし)

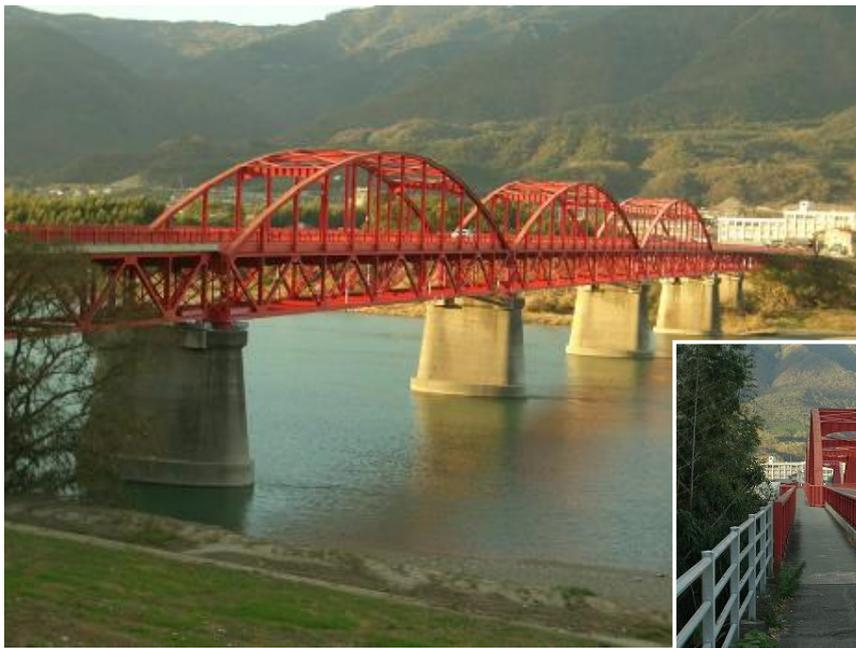


路線名:一般県道美馬貞光線
 橋長:L=657m 幅員:W=9.2m
 上部工の形式:連続PC箱桁橋
 +ポステンPCT桁橋
 完成年:昭和63年2月

一言コメント

・吉野川で3番目に架けられた8径間連続のPC長大橋
 ・連続橋としては、建設当時、全国有数の橋長を誇る

25 美馬橋(みまばし)



路線名:国道438号
橋長:L=418m 幅員:W=7.9m
上部工の形式:ランガートラス橋
+上路式トラス橋
完成年:昭和33年3月

一言コメント

- ・赤く塗られた中央部の3連ランガートラスが特徴の橋
- ・垂直材の配置を工夫し、鋼重を軽減

26 青石橋(あおいしばし)



路線名:一般県道美馬半田線
橋長:L=520m 幅員:W=9.8m
上部工の形式:連続PC箱桁橋
完成年:昭和58年3月

一言コメント

- ・オイルショックの不況時
吉野川で2番目に架けられたPC長大橋

27 東三好橋(ひがしみよしばし)



路線名:一般県道芝生中庄線
 橋長:L=374m 幅員:W=11.0m
 上部工の形式:連続ワーレントラス橋
 完成年:昭和45年12月

一言コメント

・トラスの主構をPCケーブルで補強し、
 上流側に歩道を添加

28 角の浦大橋(すみのうらおおはし)



路線名:一般県道出口太刀野線
 橋長:L=445m 幅員:W=14.5m
 上部工の形式:下路式鋼ローゼ桁橋
 +連続鋼箱桁橋
 完成年:平成16年11月

一言コメント

・淡い水色に塗られた2連のローゼ
 形式アーチが特徴の橋

29 三三大橋(さんさんおおはし)



路線名：一般県道三加茂三好線
 橋長：L=560m 幅員：W=9.8m
 上部工の形式：連続鋼箱桁橋
 +PCT桁橋+PCホロー桁橋
 完成年：平成2年11月

一言コメント

- ・親柱には鮎釣り舟のモニュメントを設置
- ・橋名の由来は、橋の兩岸の旧三加茂町と旧三好町の頭文字をとった

30 美濃田大橋(みのだおおはし)



路線名：一般県道屋間辻線
 橋長：L=184m 幅員：W=7.0m
 上部工の形式：2ヒンジ補鋼トラス吊橋
 完成年：昭和34年2月

一言コメント

- ・吉野川で自動車が行ける唯一の吊橋

31 吉野川橋(よしのがわばし)

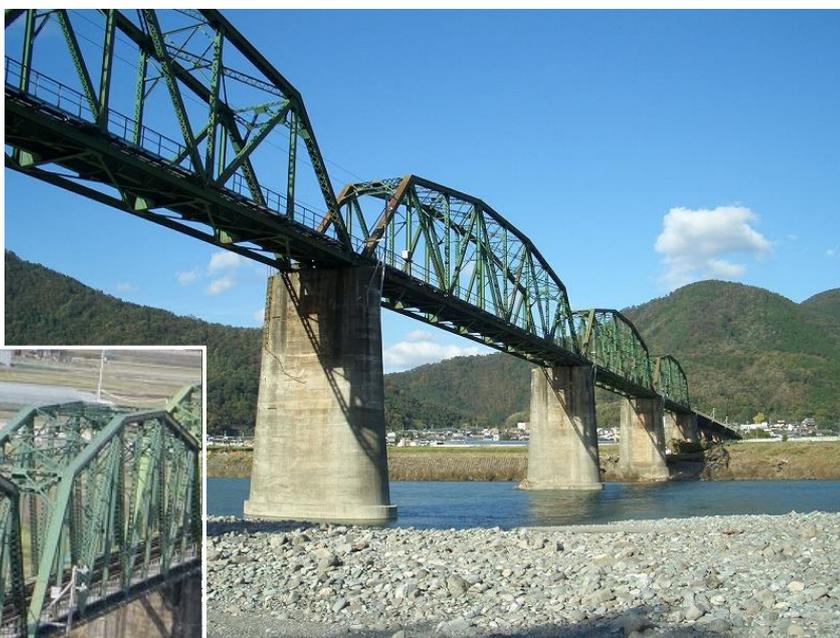


路線名: 四国縦貫自動車道(徳島自動車道)
橋長: L=853m 幅員: W=14.0m
上部工の形式: 連続鋼鈹桁橋
+ 連続鋼箱桁橋
完成年: 平成11年3月

一言コメント

・吉野川をゆるくS字状にカーブしながら跨ぐ、最大支間長190mの長大桁橋

32 吉野川橋りょう(よしのがわきょうりょう)



路線名: JR土讃線
橋長: L=571m
上部工の形式: 鋼鈹桁橋+鋼ワーレントラス橋
完成年: 昭和4年

一言コメント

・吉野川に最初に架かった鉄道橋

33 三好大橋(みよしおおはし)



路線名: 主要地方道観音寺池田線
橋長: L=236m 幅員: W=8.0m
上部工の形式: ゲルバーワーレントラス橋
完成年: 昭和33年12月

一言コメント

・珍しい偶数径間のゲルバートラス橋

34 四国中央橋(しこくちゅうおうばし)



路線名: 国道32号
橋長: L=548m 幅員: W=14.5m
上部工の形式: 連続鋼鈹桁橋+連続鋼箱桁橋
+連続PC中空床版橋
完成年: 平成15年3月

一言コメント

・少数主桁形式の採用、耐候性鋼材の使用でコストを縮減

35 敷之上橋(しきのうえばし)

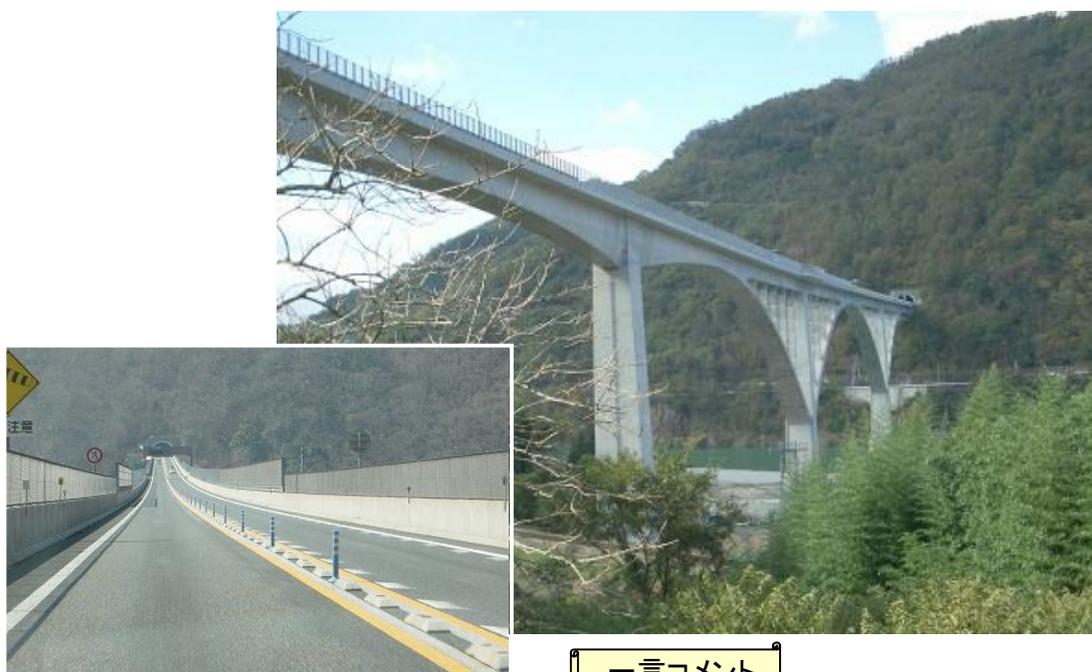


路線名:三好市道 上野敷ノ上線
橋長:L=195m 幅員:W=1.5m
上部工の形式:2ヒンジ式無補剛構吊橋
完成年:昭和49年

一言コメント

・池田ダムの建設に関連して架けられた吊橋

36 池田へそっ湖大橋(いけだへそっこおおはし)

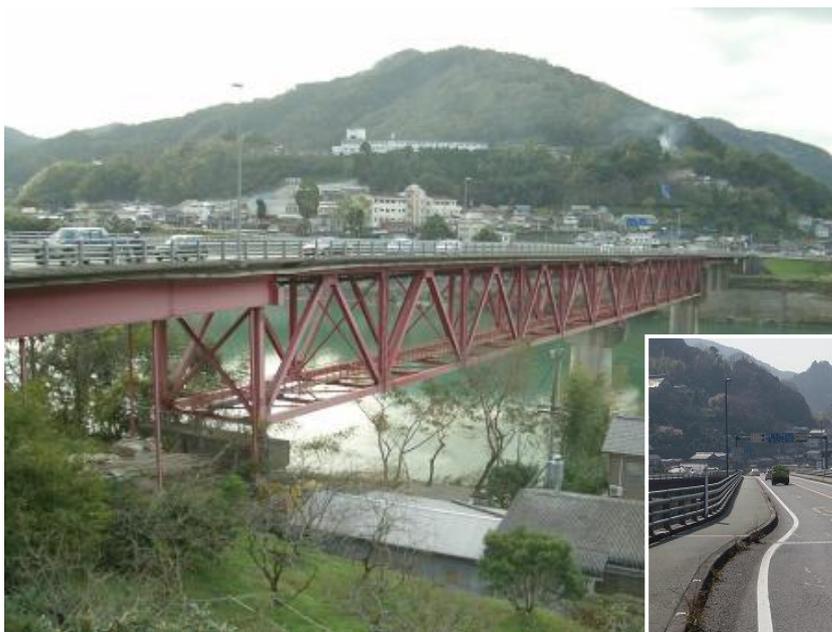


路線名:四国縦貫自動車道(徳島自動車道)
橋長:L=705m 幅員:W=10.4m
上部工の形式:バランスドアーチ橋
完成年:平成12年3月

一言コメント

・逆ランガー形式のコンクリートアーチ橋としては、わが国最大級

37 池田大橋(いけだおおはし)



路線名:国道32号
橋長:L=294m 幅員:W=12.4m
上部工の形式:鋼トラス橋+鋼箱桁橋
+鋼鈹桁橋+PCI桁橋
完成年:昭和51年3月

一言コメント

・左岸側で国道32号と国道192号を分岐させるため、数多くの形式を使用

38 三好橋(みよしばし)

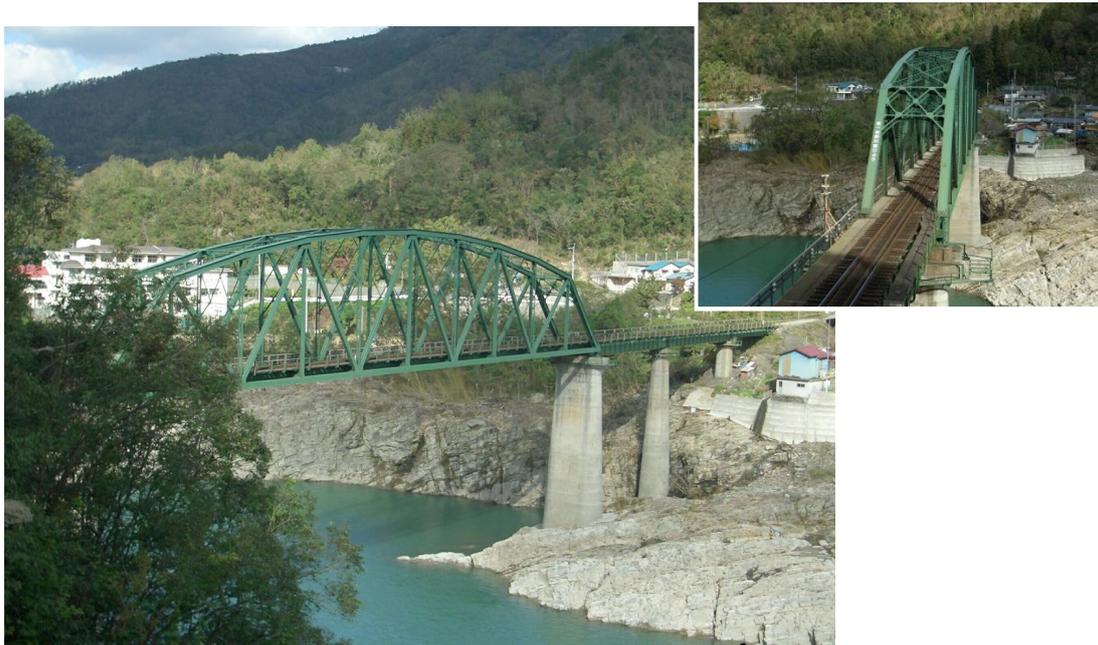


路線名:一般県道野呂内三縄停車場線
橋長:L=244m 幅員:W=6.1m
上部工の形式:2ヒンジ上路式ローゼ橋
+非合成鈹桁橋
完成年:昭和2年5月(平成元年8月改造)

一言コメント

・吉野川に最初に架けられた抜水橋で、吉野川橋と同じく増田淳が設計
・完成当時は東洋一の吊橋であったが、老朽化によりアーチ橋に改造

39 第1吉野川橋りょう(だいいちよしのがわきょうりょう)



路線名: JR土讃線
橋長: L=172m
上部工の形式: 鋼鈹桁橋
+ 鋼ワーレントラス橋
完成年: 昭和10年

一言コメント

- ・吉野川に2番目に架かった鉄道橋
- ・架設工法は当時最新のケーブルクレーン直吊り工法を採用

40 大川橋(おおかわばし)



路線名: 三好市道 大利祖谷口線
橋長: L=150m 幅員: W=3.0m
上部工の形式: 吊橋
完成年: 昭和9年

一言コメント

- ・JR土讃線のルートが右岸から左岸に変更となり、祖谷口駅設置のため赤川庄八によって架設された橋
- ・建設当時は通行料を払う賃取橋

41 祖谷口橋(いやぐちばし)

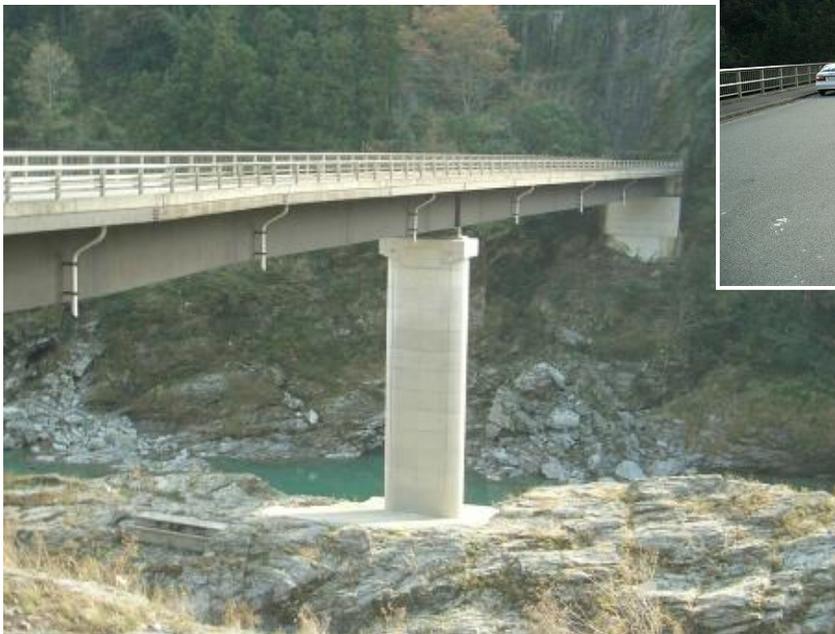


路線名:主要地方道山城東祖谷山線
橋長:L=230m 幅員:W=7.5m
上部工の形式:ニールセンローゼ橋
完成年:昭和48年1月

一言コメント

・つり材を綾状に配置しているのが特徴のアーチ橋

42 国見山橋(くにみやまばし)



路線名:林道川崎国見山線
橋長:L=152m
上部工の形式:鋼床版箱桁橋
完成年:平成元年

一言コメント

・建設当初は茶褐色のさび色で、時間の経過と共に黒褐色に変化していく、「耐候性鋼材」を使用

43 国政橋(くにまさばし)

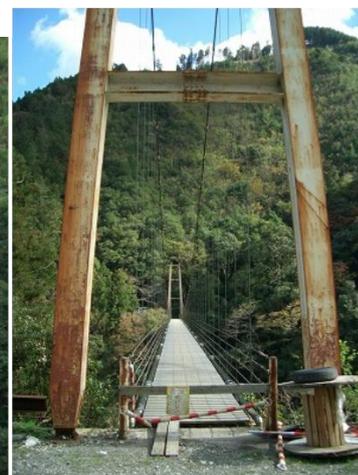
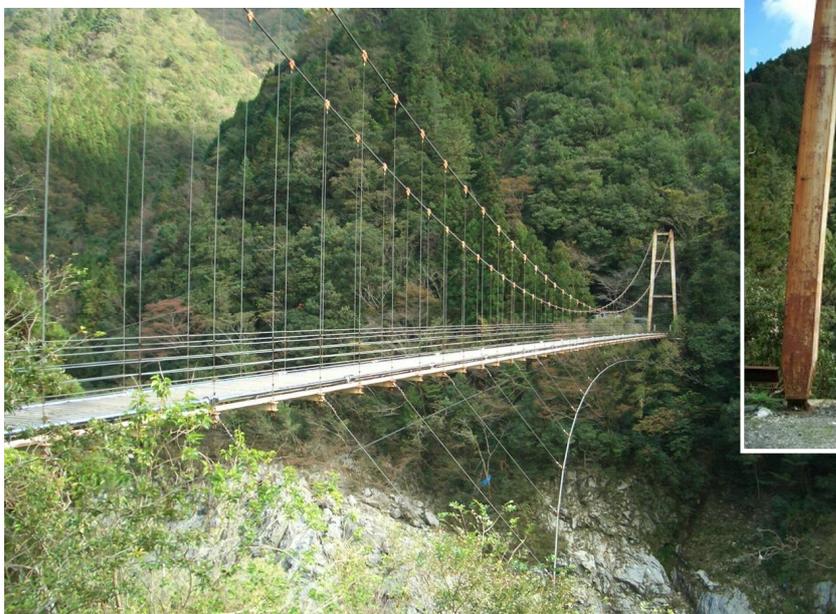


路線名:三好市道 国政橋線
橋長:L=100m 幅員:W=1.8m
上部工の形式:吊橋
完成年:昭和51年

一言コメント

- ・上流に建設された早明浦ダムに関連して架けられた吊橋
- ・小歩危峡とラフティングを眺められる数少ないビューポイント!

44 赤川橋(あかがわばし)



路線名:三好市道 大津赤川線
(現在通行止め)
橋長:L=109m 幅員:W=1.6m
上部工の形式:吊橋
完成年:昭和50年

一言コメント

- ・初代は山林王といわれた赤川庄八が架設橋のたもとは、庄八の銅像が建つ
- ・孫の庄市が現在の二代目の橋を架設

45 第2吉野川橋りょう(だいによしのがわきょうりょう)



路線名: JR土讃線
 橋長: L=249m
 上部工の形式: 鋼桁橋
 + 鋼ワーレントラス橋
 完成年: 昭和10年

一言コメント

・架設機材の多くを第1吉野川橋りょうのものを使用

46 大歩危橋(おおぼけばし)

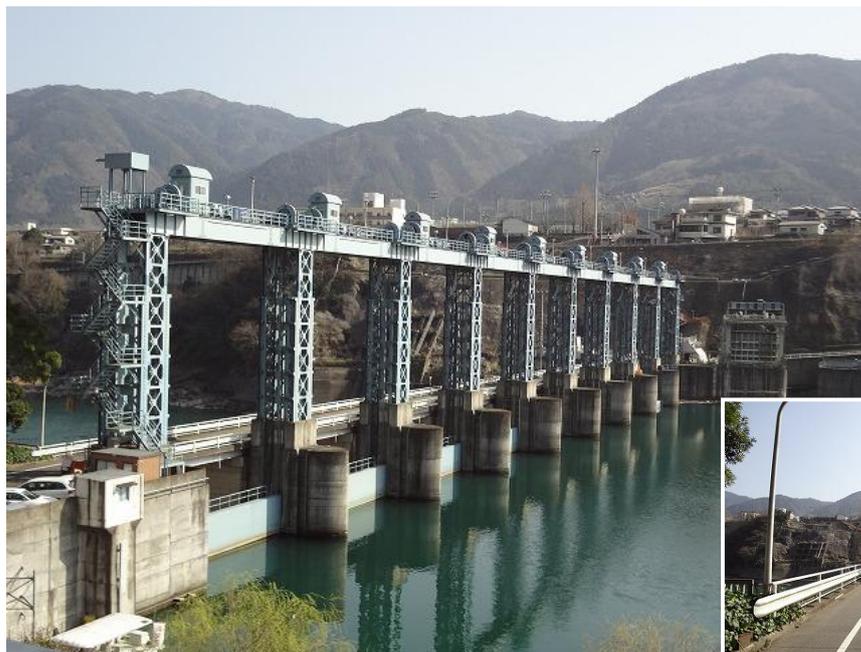


路線名: 主要地方道西祖谷山山城線
 橋長: L=165m 幅員: W=8.8m
 上部工の形式: 2ヒンジ中路式鋼アーチ橋
 完成年: 昭和48年8月

一言コメント

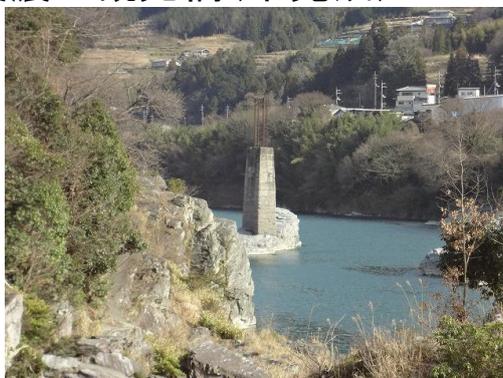
・左右非対称のおもしろさを持つ中路式アーチ橋

番外1 池田ダム(いけだだむ)



路線名:三好市道 上野西山線
堤頂長:L=247m
ダム形式:重力式コンクリートダム
完成年:昭和50年3月

番外2 美濃田観光橋(未完成)



着工年:昭和28年

一言コメント

・森金治郎氏が発起人となり、架橋を始めたが、寄附金が思うように集まらなかったため、工事半ばで中止となった。

番外3 旧穴吹橋モニュメント



平成5年8月移築

※橋のコメントについては、
「四国三郎吉野川の橋」（徳島県橋梁技術者の会）、
「阿波の橋めぐり」（坂本 好）を一部引用しています。



祖谷のかずら橋



鮎喰川の浜高房橋(こんにやく橋)
平成19年3月撤去